



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

ゴールは秋の収穫祭 ふじやまの野菜づくり

さわやかな5月の風が心地よく感じられるようになると、ふじやま農園では収穫祭にむけて農作業が本格化します。農作業は、以下のスケジュールで進められています。

- ★1月～3月：寒風吹きすさぶ中、公園の恵み(?)である落ち葉をかき集めて、炭焼き広場にある囲いの中まで運び上げます。米ぬかや油粕を混ぜ、2年ほど自然発酵させると堆肥の出来上がり。
- ★4月～6月：自家製の堆肥を漉き込んだ畑には4月中旬にサトイモが植え付けられ、皆さんがこの記事を目にするころにはサツマイモの植え付けも終わっています。この時期、キュウリ、ナスなどの夏野菜やネギの植え付けも行われます。
- ★7月～9月：サツマイモや里芋の葉が大きく育ってきます。30度を超すことが多い強い日差しの中、塩あめをなめながらの草むしりや水遣りが一苦労です。ニンジンや大根の種まきも行います。
- ★10月～11月：いよいよ収穫期。掘ってみて笑顔がこぼれたり、落胆したり。お百姓さんの苦労が身にしみます。



こうして、一年を通じ農芸部会員が丹精込めて育てた野菜たちは、開園10年記念行事の収穫祭で参加者の皆さんに振舞われます。ふじやま鍋や石焼き芋をほお張る子どもたちの笑顔が今から目に浮かんできます。



梅雨に入る時期とはいえ、公園に来るような気分の日はずっと気温も上昇しているはず。そんな日は弓道場そばと、東屋そばの2か所ある水飲み場が大活躍する。とはいっても、9ヘクタールに2か所なので、これからの季節は園内の散歩に水筒やペットボトルは欠かせない。幼児や高齢者は水分不足が原因の熱中症になりやすいし、特に高齢者は夏の脳卒中にも要注意。水分不足で血液が濃くなり、血栓が出来やすくなるようで、口の中のネバネバは血管の血液濃度と同じ状態という説もあるから、汗をかいたらこまめに水分補給をして、楽しく散策したいものだ。



◆五月人形 鯉のぼり 呈茶席

ふじやま公園古民家では恒例の端午の節句の諸行事が行われました。4月17日から5月20日まで五月人形が15組以上飾られました。鯉のぼりは4月19日から掲揚を始めました。今年は風が強い日が多く、吹流しが矢車に絡まりポールを倒して取除くことがあり、揚げることが出来ないことがしばしばでした。それでも鎌倉街道から見えるので鯉のぼりを目当ての来園者がありました。5月4日(土)には呈茶席が設けられ、多くの方が新緑を眺めながら抹茶とお菓子を楽しみました。



◆たけのご掘り

恒例になった竹林整備体験教室・筍掘りが4月28日、75家族150人が参加して行われました。筍を探すのが大変だった昨年と違って、今年は時期を遅らせたことも功を奏して、あっちにもこっちにもニョキニョキ状態。中には子供たちの背丈ほどや、倍もある大きなもの…。



そんな超大物の陰に格好の獲物が隠れていた！急斜面に足を取られたりしながら、筍を傷つけないように注意深く掘って、掘りあげたときの気分は最高で、ちびっ子からおじいちゃん、おばあちゃんまで同じ「やったあ！」の歓声。終わって、まとめた収穫を75に分けてのくじ引き。「楽しかったね」「また来年」の声で解散。ふじやま公園の周辺では、この日は筍ご飯の香りがいっぱいだったでしょう。

◆10周年記念特別行事体験教室作品展が盛会でした

工作棟で開かれている体験教室の参加者の作品と講師の教材作品の展示が、3期に分けて古民家主屋で行われました。展示期間は、3月下旬雛人形飾りに代って第1期の展示が始まり、4月中旬の五月人形飾りの始まる前まででした。16教室の作品が広間、仏間、座敷に各々工夫を凝らして展示され、延べ21日間に約800人の来園者があり、皆さん作品の技とアイデアに感心して鑑賞していました。期間中に8教室の体験教室が開催され多くの方が参加していました。



古民家 Q&A



Q：五月人形飾りの太刀と弓矢の位置は？

A：太刀は向かって右側、弓矢は左側です。五月飾りが鎧または兜を中心に飾付ける形式になったのは昭和以降です。江戸時代には厚紙で大きな甲を作り、木枠を背景に菖蒲太刀、武者人形、陣太鼓などと並べ更に粽・柏餅を供えました。武者人形には日本武尊、金太郎、牛若丸と弁慶、加藤清正、鐘馗などです。現在では兜と櫃または鎧櫃の背景に屏風または陣幕を立て前方に種々の人形、武具類、飾り馬を飾ります。太刀、弓矢や鐘馗はいずれも魔除けの役割です。ところで太刀と刀とはの違いは、太刀は長く反りが大きく、刃を下向きにし、紐や器具を使い腰に吊るして携帯します。刀は短く反りが小さく、刃を上向きにし、腰の帯に差して携帯します。飾付けの構成や並べ方を古民家に飾付けた五月人形でご確認ください。



10周年プロジェクトニュース



ふじやま公園の古民家を描くスケッチグループ（3団体）の作品展を開催する予定です。現在、日程は調整中です。
プロジェクトの主要事業の一つである前史を含め十年余の歴史を綴った記念誌「ふじやま公園のあゆみ」の編集は順調に進行しており、6月上旬に発行予定です。図書館や地区センターでご覧いただけます。

『いろり辺雑記』から（原文のまま）



本郷ふじやま公園で、竹ぽっくり、竹とんぼ、竹馬などいろいろなもので遊ばせてもらいました。
古民家でも六つの玉があるそろばんなど、いろいろなれきしを体けんした感じがします。この古民家は広いですが、今とくらべると電気もなくとても大へんなのだと思います。



ふじやま公園の植物

シャクヤク ボタン科

中国原産。立てばシャクヤク座ればボタン・・・と美人を形容する美しい花。ボタンと同じように見えるがシャクヤクは「草」で茎が伸びる宿根草。ボタンは「木」で幹が伸びる落葉低木。葉の形も違い、シャクヤクの蕾はほころぶように咲き、花は惜しむように散る。中国では昔からボタンの花は王様として地位を確立、一方シャクヤクは切り花として飾り人々に買い求められ楽しんだ。古くから漢方薬として鎮静、鎮痛剤として処方。長屋門前に植栽中。シャクヤクとボタンの違いを見つけてみては？



25年6月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	7日(金)	古民家歴史部会 部会	9日(日)
農芸部会 部会	17日(月)	古文書解読勉強会	2日(日) 23日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	6日(木)
里山部会 作業	8日(土) 15日(土) 23日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間休みます
工作棟部会 部会	12日(水)	クリーンアップ	4日(火) 18日(火)
親子工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	8日(土)
ホームページ制作打合せ	5月26日(日)	印刷	13日(木)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡下さい。

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
親子工作	6月16日(日) 10時～12時 13時～15時	クラフトで作るブレスレット	無料	当日受付 各先着15名
藍の生葉染	6月27日(木) 13時～16時	シルクのストールをスカイブルーに染めます	2,000円	6月20日(木) 12名
布細工	7月4日(木) 13時～16時 7月11日(木) 13時～16時 (全2回)	あやめとかぶとをセットで作ります 持参品：裁縫道具	1,000円	6月20日(木) 12名
押し絵	7月9日(火) 13時～16時 7月23日(火) 13時～16時 (全2回)	「花火遊び」	1,500円	6月25日(火) 12名
創作人形 (45cmのピエロ)	7月12日(金) 10時～16時 7月19日(金) 10時～16時 (全2回)	すわるピエロ。和布を使います。裁縫が好きな方、ミシン掛けが出来る方	4,000円	6月20日(木) 6名
いろり端むかし話の会	7月18日(木) 10時30分～ 11時30分	いろり端で栄区や横浜近辺に伝わる昔話や日本の昔話を楽しんでみませんか	無料	当日受付 先着15名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

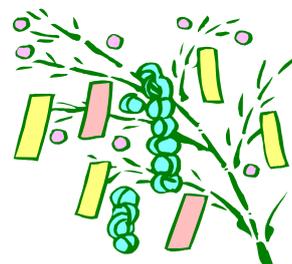
・・・お知らせ・・・

★ 七夕飾り

期間中、古民家主屋縁側に笹竹を立掛けます。来園の皆さんには願い事を短冊に書き、竹に取付け、一緒に彦星・織姫星に願いを託しては如何ですか。

日 時：7月2日(火)～7月7日(日) 10時～15時 7月3日(水)は休館日です。

場 所：古民家主屋縁側



★ わんこソーメン流し

七夕のひとつときを名物「わんこソーメン流し」で楽しみませんか。(先着150名)

日 時：7月7日(日) 11時～12時 雨天中止

場 所：古民家前庭

参加費：200円

輪投げや竹工作もあります。無料

★ 4月古民家ゾーン来園者数 2,118名

25年度累計 2,118名

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間：9時～17時 ・入館料：無料 ・休館日：6月5日 毎月第1水曜日 ・クリーンアップ：6月4日(火)、18日(火) 10時～11時 一斉清掃 |
|--|

★ 本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：896-0590

FAX：896-0593